

ひろげる

expand

つなぐ

join

かえる

change

11

2011

2011年10月25日発行  
通巻155号

コラム

## 「働く場」としてのNPO

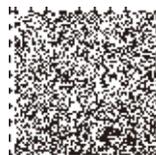
三重大学人文学部准教授 三重大学キャリア支援センター長 石阪 督規

NPO物語 Vol.31

特定非営利活動法人 愛伝舎

理事長 坂本 久海子

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



大学で学生の就職支援に関わるようになって十年。これまで誰ひとり、「NPOに就職したい」と申告してきた学生はいない。この間、講義でNPOの役割や意義について学ぶ機会は増え、普通の大学生にとっても、知名度は着実に上がりつつあるNPOだが、自身の就職先としての魅力には乏しいようである。実際、就職サイトや経済団体主催のセミナーなどでも、めったにお目にかかれず、「どうやって就職(活動)をすればよいかかわからない」という学生も少なくない。学生サイドからすれば、社会や地域への貢献は評価できるし、学生ボランティアとして関わる分には問題ないが、仕事、つまりお金(生活費)を得るための手段としては考えられないということなのだろう。

一方、三重県内のNPOも、その大半は収入規模が小さく、正規雇用もままならない状況のなか、民間企業と同程度、もしくはそれ以上の待遇で学生を雇い入れることは、現実的には難しい。事実、日常業務に追われ、新卒学生の獲得競争に参戦する余力も体力もないところがほとんどと思われる。

こうしたNPOの激務、労働環境の厳しさ、職場定着率の低さは、学生にもすでに情報として入ってきており、「NPOじゃメシは食えない」というのは、暗黙の了解事項となっている。結婚や出産、子育てや介護など、これからさまざまなライフイベントを経験していく若者にとってみれば、現在のNPOに「働く場」としてのリアリティはほとんどない。

いま、NPOの現場では、いつ無職となるかわからない将来の不安を抱えた若者たちが、日夜、激務にさらされている。「好きでやっているんだろう」「ボランティアなんだろう」という外部の声に隠れがちではあるが、そこで働く若者たちも、生活の安定と将来の展望をもって職務に取り組みたいと思っているにちがいない。若者たちにとって、あこがれの、そして働きたいと思われる「職場」となりうるか。NPOの未来は、そこに集約される。

## 助成金情報



まちづくり



市民活動



環境



芸術



子ども

### まちづくり

#### JT NPO 助成事業～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

受付期間 11月20日(日)

対象団体 2011年9月30日時点で、非営利法人として1年以上の活動実績を有すること。

対象活動 非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する地域コミュニティの再生と活性化につながる事業 ※活動分野不問、詳細はHP参照

助成金の額 1件あたり150万円を上限とし、40件程度。

応募方法 HPより応募書式をダウンロードし必要事項を記入の上、指定書類を添付して送付。

問い合わせ先 日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室  
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
Tel 03-5572-4290 Fax 03-5572-1443

HP <http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/index.html>

### 市民活動

#### (株)三重銀行「NPO サポートファンド」

受付期間 11月24日(木) 当日消印有効

対象団体 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っているNPO(法人格の有無は問いません)。

助成金の額 寄付総額100万円を上限として配分(ただし、1団体あたり上限は20万円)。なお、団体あて寄付のため、資金使途は自由です。

応募方法 次の資料を選考委員会事務局の三重銀総研へ郵送。  
(1)エントリーシート(三重銀総研ホームページからダウンロード)  
(2)団体の目的や理念を記載した資料(定款、規約など)  
(3)直近事業年度1年間の収支状況を記載した資料(財務諸表など)  
(4)その他、活動内容をPRできる資料(パンフレット、会報など)

問い合わせ先 (株)三重銀総研(担当 先浦)  
〒510-0087 三重県四日市市西新地7-8

Tel 059-354-7102 Fax 059-351-7066

mir@miebank.co.jp

HP <http://www.miebank.co.jp/mir/>

### 環境

#### 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 セブン・イレブンみどりの基金

受付期間 11月30日(水) 当日消印有効

【A】地球温暖化対策助成  
森林の保護・保全を通じたCO<sub>2</sub>削減活動を支援

対象団体 「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人

対象活動 森林育成・保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や、林産物の活用を創出する活動で、植樹や間伐等の面積・種類・本数等を明確にし、具体的なCO<sub>2</sub>吸収量を提示できる活動。

助成金の額 1団体あたり上限150万円、総額4000万円

【B】活動助成

環境市民活動に必要な経費を支援

対象団体 NPO法人または任意の環境市民団体

対象活動 ①自然環境の保護・保全 ②野生動植物種の保護・保全 ③体験型環境学習活動 ④環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動 ⑤植花活動  
※詳細はHP参照

助成金の額 上限なし、総額5000万円

【C】自立事業助成

助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を安定的に確保できる事業を構築し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援

対象団体 「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績があるNPO法人

対象活動 【B】と同じ

助成金の額 1団体あたり上限440万円、2団体まで

【D】広域連携促進助成

同一テーマのもと、複数の団体による広域なネットワークで、

自分がそだち  
人がそだち  
組織がそだつ

## NPOの新しい動きとともに学ぶ 「ゼロから知りたい NPO法人会計基準講座」

これまで考え方や作り方がまちまちで、「外部の人に見せる」というところに視点がおかれにくかったNPO法人の会計。しかし、「市民にわかりやすい会計報告」「社会の信頼にこたえる会計報告」という視点から、NPO自らの手で昨年7月に「NPO法人会計基準」がつけられました。

これにより報告書作成の指針ができ、NPO法人の所轄庁もこの指針にそった会計報告書を積極的に受け入れていく方向です。

こういった動きをつかみながら、明確で正確な会計報告を行う知識を身につけ、実際に導入するときのポイントも学びます。組織の運営に活かしていけるような会計を目指しませんか。また、NPO法改正、新寄付税制などNPOを取り巻く最新の動きについても同時に学んでいきます。

- 講師** 特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ  
相談事業部長 中尾さゆりさん
- 定員** 先着 20 名程度
- 日時** 11月25日(金) 18:30～20:30
- 場所** いせ市民活動センター北館(三重県伊勢市岩淵1-2-29)  
いせシティプラザ2階 会議室A
- 対象** 特定非営利活動法人、法人化を予定している団体
- 参加費** 500円(資料代) ※要申込み
- 主催** いせ市民活動センター(特活いせコンビニネット)、  
みえNPOセンター・ワーカーズコープ

### 申込み・お問い合わせ先

#### ①いせ市民活動センター

Tel 0596-20-4385(酒徳) Fax 0596-20-4386  
✉ skc@e-ise.net HP <http://skc.e-ise.net/>

#### ②みえ県民交流センター指定管理者

みえNPOセンター・ワーカーズコープ  
Tel 059-222-5995(谷、三好) Fax 059-222-5971  
✉ center@mienpo.net  
HP <http://www.mienpo.net/center/>

### 地域の環境市民活動の効果を高めるプロジェクトを支援

**対象団体** 「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人が代表となり、複数の団体で構成されているプロジェクトチーム

**対象活動** 【B】と同じ

**助成金の額** 1プロジェクトあたり上限200万円、3プロジェクトまで

**応募方法** HPより専用申請書をダウンロードし必要事項を記入、指定書類を添付し封書で郵送。Eメール、Fax不可。

**問い合わせ先** 一般財団法人セブン・イレブン記念財団  
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8  
Tel 03-6238-3872 Fax 03-3261-2513

✉ [oubo.12b@7midori.org](mailto:oubo.12b@7midori.org)

HP <http://www.7midori.org/josei/index.html>

### 芸術

### 東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)

**受付期間** 11月30日(水) 当日消印有効

**対象団体** ・アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動をおこなう市民・団体も対象とする。  
・当協議会の事務局による情報収集・調査もあわせておこない、第三者から推薦された個人・団体等。

**対象活動** ・被災者・被災地を応援する目的でおこなわれる芸術・文化活動(表現方法・形態は問わず)  
・被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動  
・その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動  
※被災地での実施の有無不問  
※もっぱら復旧・救援を目的とした活動については、実施者の如何を問わず対象とせず

**助成金の額** ひとつの活動につき、原則として50万円を上限とする。(他の助成金等との併願も可能)

**応募方法** HPより申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、メール添付または郵便にて送付。

**問い合わせ先** 公益社団法人企業メセナ協議会「芸術・文化による

震災復興支援ファンド」係

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階

Tel 03-3213-3397 Fax 03-3215-6222

✉ [gbfund@mecenat.or.jp](mailto:gbfund@mecenat.or.jp)

HP [http://arts-fukkou.blogspot.com/p/blog-page\\_11.html](http://arts-fukkou.blogspot.com/p/blog-page_11.html)

### 子ども

### 平成24年度 子どもゆめ基金助成金募集

**受付期間** 12月5日(月) 当日消印有効

**対象団体** ・子どもの健全な育成を目的に、子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む次の団体  
・一般社団法人、一般財団法人、NPO法人、法人格は有しないが、活動を実施するための体制が整っていると認められる団体等

**対象活動** 1. 子どもを対象とする体験活動や読書活動  
①体験活動：自然体験・科学体験・社会奉仕体験・職場体験など

②読書活動：読み聞かせ会・読書会・お話会など

2. 子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

○指導者養成・フォーラム等振興普及活動

※詳細はHP参照

**助成金の額** 活動規模により、50万円(限度額100万円)～300万円(限度額600万円)

**応募方法** HPよりダウンロードした計画調書に必要事項を記入の上、指定の書類を添付し、簡易書留など配達記録の残るものを利用し送付(Eメール、Faxは不可)。

**問い合わせ先** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

Tel 03-5790-8117-8118 Fax 03-6407-7720

✉ [yume@niye.go.jp](mailto:yume@niye.go.jp)

HP <http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html>

✉ E-mail HP ホームページ

# NPO から寄せられた募集とご案内

## 旧路面電車サミット

### 第10回中部地区地方鉄道サミット on 北勢線 [シンポジウム]

**日時** 11月12日(土) 13:00～  
**場所** くわなメディアライブ 1階多目的ホール (桑名市中央町 3-7-9)

#### ①基調講演

**演題** 「地方交通における運行会社、行政、市民との協働」  
**講師** 小嶋光信 (たま駅長の) 和歌山電鉄貴志川線社長

#### ②技術講演

**演題** 「LRV技術の展望—近畿車輛のアメリカ向けLRV」  
**講師** 南井健治 近畿車輛(株) 前チーフデザイナー

#### ③パネルディスカッション

**テーマ** 「市民鉄道としての地方鉄道(路面電車) その存続に市民はいかにかかわるか」  
**コーディネーター** 成田正人 (ASITA会長)  
**パネリスト** 小嶋光信、南井健治、伊奈彦定 (とよはし市電を愛する会会長) 島正範 (RACDA高岡会長) 安藤たみよ (軽便鉄道博物館館長)

#### ④懇親会

#### 【エクスカーション】

「美しい日本の歩きたくなるみち500選認定」

**日時** 11月13日(日)  
**内容** 軽便鉄道と昭和のまちに出逢うみちを歩いて阿下喜軽便鉄道博物館へ ※詳細はHP参照

**対象** 三重県全域の住民 (特に存廃問題の鉄道沿線住民)  
**参加費** 無料(資料要望1,000円/懇親会参加3,000円) ※懇親会とエクスカーション参加希望の方は、11月5日(土)までに要申込み。

**主催** ASITA(北勢線とまち育みを考える会)  
**問い合わせ** Tel 0594-72-2478 (安藤) 090-4447-1893 (成田) Fax 0594-72-3885  
**HP** <http://asita.web.infoseek.co.jp>

## 地球温暖化を理解し、子供たちの先生に! 「地球温暖化対策講師養成セミナー」の第5期生募集

今世紀最大の課題である地球温暖化防止に関して、その対策にかかる講師を養成します。セミナー講師陣は、日本

風力エネルギー協会元会長の清水・三重大学名誉教授、日本作物学会元会長の谷山・三重大学名誉教授、児玉・三重大学教授、藤岡・元久居市長ほか。大半の講義を聴講した方に修了証を授与します。現在、55名の修了生が活動中です。

**日時** 第1回セミナーは 11月19日(土) 14:00～16:00 ※以降、毎月1回(原則第2土曜日) 来年8月まで全10回開催  
**場所** みえ県民交流センター 交流スペース アスト津3F(津駅東口隣接ビル)  
**対象** 地球温暖化問題に関心のある一般市民  
**参加費** 無料 ※要申込み  
**主催** NPO連合「グリーンカレッジみえ」  
**問い合わせ** Tel&Fax 059-293-3018 (天花寺)  
**HP** [love1075jp@yahoo.co.jp](mailto:love1075jp@yahoo.co.jp)

## ストップDV!

“がまんしないでいい!あなたは悪くない” ~当事者が望む支援とは~

11月12日から25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。DVの被害を受けた女性や子どもたちがDVをのりこえるためには何が必要かについて考えるセミナーを開催します。

#### 【講演会】

**講師** 藤木美奈子さん(特活 WANA 関西代表、龍谷大学准教授)

**朗読劇** 【ひまわり～DVをのりこえて】  
**演者** 情報ネットワーク「あ・うん」など  
**日時** 11月19日(土) 13:30～16:00  
**場所** 松阪市産業振興センター3階 研修ホール(松阪市本町2176番地)  
**対象** どなたでも

**参加費** 無料 ※申込不要  
**主催** 三重県、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」、松阪市  
**問い合わせ** 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」  
Tel 059-233-1131  
Fax 059-233-1135  
**HP** <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>

## 三重県子ども虐待防止啓発月間協力事業

11月19日(いい育児の日)

子育てほっとダイヤル

～虐待予防は子育て不安の解消から!～  
どんなことでも構いません。子育てのこと、お母さん自身のこと、家族のこと…

etc あなたの抱える悩みをお話ください。助産師、心理カウンセラー、小児科医師、看護師、管理栄養士、保育士が交代でお電話をお待ちしています。

**日時** 11月19日(土) 午前9:00～ 11月20日(日) 午前9:00  
**場所** (特活)MCサポートセンターみっくみえ事務所(桑名市西別所302)  
**対象** 三重県在住の子育て中の方  
**参加費** 無料 ※申込不要  
**主催** (特活)MCサポートセンターみっくみえ  
**問い合わせ** Tel 0594-21-4935 (瀬古) Fax 0594-22-9835  
**HP** <http://www3.ocn.ne.jp/~mcs/>

## 【東京・大阪】に続いて、三会場目は「松阪」に決定!!

### CSR意識が高まる中、「CSR検定」を開催します!!

「CSR検定」が三重県でも受検できることになりました。震災の発生、ISO26000の発行などを契機に、地方でもCSR意識が高まっています。中小企業や個人商店もCSRに着目し、住民一人ひとりが「自然環境と社会の持続性を高める」時代です。「CSR検定」を取得し、企業やご自身の価値向上にお役立てください。詳細はHPをご覧ください。

**日時** 12月10日(土) 13:30～15:00  
**場所** 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788カリヨンプラザ3階)  
**対象** 企業のCSR(環境・地域貢献)担当者または広報担当者、行政・各商工会議所・各商工会の職員、CSRに関心がある方などを中心にご参加  
**参加費** 受験料5,000円(税込) ※要申込み  
**主催** (特活)企業社会責任フォーラム、株式会社オルタナ、日本財団CANPAN  
**問い合わせ** Tel & Fax 0598-26-0508 (石丸)  
**HP** <http://m-csr.jimdo.com/>

## 第29回あけぼのハウス三重

「あなたは一人ではありません」

乳がん体験者のお話「2度(両側)の手術を体験しました」  
体験者への直接の質問、患者同士の情報の交換、また悩みを話し合ったりします。

**日時** 11月23日(水) 12:00～15:00  
**場所** 伊勢市観光文化会館3階和室



# NPO 法と寄付税制の改正

NPO の課題と寄付税制等の改正の背景

NPO にとって、寄付金を集めるということは、非常に大きな課題である。全国の多くの NPO が、寄付金を集めることに苦戦していた、あるいは熱心に取り組んでこなかったという現状があった。



そういった課題を解決するために、2001 年に「認定 NPO 法人制度」が制定されたが、認定 NPO 法人の認証の条件は厳しく、平成 23 年 9 月現在で 232 団体が認証されたにすぎない。



そうしたなか「NPO法人シーズ 市民活動を支える制度をつくる会」を中心とした市民団体からの働きかけもあり、2011 年 6 月に、新 NPO 法と新寄付税制が成立した。

## NPO 法の改正のポイント

- ・認定 NPO 法人の認定条件に新しく「3000 円以上の寄付者を 100 人集める」というパブリックサポートテスト (PST) が導入され、認定 NPO 法人の認定条件が大幅に緩和された。

## 寄付税制改正のポイント

- ・個人が認定 NPO 法人 (または仮認定 NPO 法人) に寄付をすることで、所得税や住民税の税額が、寄付額の最大 50% 分控除される。

## NPO にとっての寄付を集めるということ

今回の NPO 法と寄付税制の改正の大きな狙いは、NPO が認定 NPO 法人をとりやすくし、寄付者にとってもメリットのある税制の仕組みをつくることで、日本に寄付文化を定着させ、市民活動を促進していくことである。ここで NPO にとって、大きなポイントとなるのが「寄付を集めるということ」と考えられる。

確かに、寄付を集めることだけが NPO の資金づくりの方法ではない。しかし、寄付がたくさん集まると NPO は、地域からその NPO が信頼されているということとイコールであると考えられる。

そのためにも、積極的に地域の中に入っていき、自分たちの活動を知ってもらうことを通じて、「ほっておけないこんな課題があるんだ!」と訴えていくことは、市民活動促進の大きな役割のひとつといえる。

NPO 法と寄付税制が改正されたことで、市民活動が大きく促進することは間違いない。今こそ、NPO は自分たちの活動をふりかえてみるのが大切ではないだろうか。

(近鉄宇治山田駅前)

- 対象** 乳がん体験者ならどなたでも。
- 参加費** 200 円、ランチ持参してください。 ※要申込み
- 主催** 乳がん体験者の会 あけぼの会三重支部
- 問い合わせ先** Tel 090-4211-9947 (西村)  
Fax 0596-25-3426

E-mail ホームページ

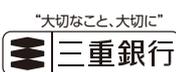
## NPO サポートファンド 寄付先 募集中

☆総額 100 万円! 使い道は自由です!

- 応募資格** 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っている NPO (NPO 法人のほか、任意団体などを含みます)。
- 応募締切** 11 月 24 日 (木) <消印有効>
- 選考方法** 書面、プレゼン選考により寄付総額 100 万円を上限として配分 (1 団体当たり上限 20 万円)

詳しくは  
ホームページ

【お問い合わせ先】  
株式会社三重銀総研 調査部  
TEL:(059)354-7102(担当 先浦)  
URL:<http://www.miebanc.co.jp/mir/>



## 【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました! 掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月 10 日までにお送りください。
- (2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

## ホームページ 原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の 2 種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail [center@mienpo.net](mailto:center@mienpo.net) Fax 059-222-5971  
転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者: みえ NPO センター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

理念と歩みから学ぶ

## NPO物語 Vol.31

組織にスポットライトをあて  
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。多文化共生がつくる  
新しいつながり特定非営利活動法人 愛伝舎  
理事長 坂本 久海子 (写真右端)

## 外国人の問題だけではない！

## 特定非営利活動法人 愛伝舎の設立の経緯についてお聞かせください

私は1993年から1998年の間、ブラジルで暮らしていました。帰国する時、日本に出稼ぎに来る外国人は、「単身の出稼ぎ」から「家族を連れての出稼ぎ」という働き方によって変わってきて、子ども達の勉強も大変だろうと思いました。

その後、私は2002年に鈴鹿市立小学校の講師になりました。その時に「外国の子どもたちにとっての学習の環境が保障されていない」ということがよく分かったのと、それ以外に、子どもたちの家庭環境も日本社会に外国人を受け入れる仕組みがちゃんと無い、そこに気がつきました。



質問や相談など、事務所には多くの在住外国人が訪れる。

外国人の定住がもっと増えることで、大きな社会問題になっていくのではないかと、言葉や習慣・制度の違いのギャップというものが、その人たちにとっても私たち日本人側にとっても色々戸惑うこととして起こるのではないかと感じていました。

それは、外国人の問題ですが、日本の社会にとっても将来のリスクになるということがだんだん分かってきて、そういった問題に取り組んでいきたいと思いました。そこで、同じ思いをもった仲間を集めて「NPO法人愛伝舎」を設立することにしました。

## ボランティアではなくビジネスベースで

## コミュニティビジネスという運営スタイルへの決め手は？

コミュニティビジネスというのが社会の課題を解決するってことだということを知って、地域の課題を解決するようなことをやることで、将来のリスクを減らしていくというようなことを学んで、ボランティアではなくビジネスベースでやりたいと思いました。

それと、少子高齢化が進む日本では、外国人に依存する労働力としては、もっと増えてくるわけだから、そこに対して何らかの解決をしていくためのビジネスというのは需要があるのではないかと感じました。周りにも手を打ってないから、そこら中に問題だらけなのが見えているわけだから、それをやらないとこのままでは社会がグチャグチャになるのでは!?というのはありますね。

## NPO ならではのネットワーク

### NPOの役割とは？

私たちがずっと考えていたのは、共生の社会づくりというものを進めていくうえで、政治家だったり、公務員だったり、あとは当事者である外国人であったりと、それぞれの役割によって、やるのが違う。「共生」というものを進めるためには、ひとつのグループ、仲間だという考え方のもとに、それぞれの立場や役割に応じて活動するということがいいのかなと思います。

NPOは現場に一番近い存在だし、あと行政の人たちと仕事していて、すごく、熱心に仕事してくれる人たちがやっぱり2年とか3年とか、で、ぱっと替わっていくわけで、だからやっぱり経験とかネットワークは蓄積されないわけですね。なので、NPOはずっとその仕事の専門性を培いネットワークを培ってやっていける、そういうことかなと思いますね。



介護人材育成の様子

## 被災地復興のための大人の役割

### 「希望のえんぴつプロジェクト」についてお聞かせください

縁があって、宮城県女川町の子どもたちに文房具を送り届けることから始まりましたが、活動を通して、いろいろな人のつながりが出来ました。「希望のえんぴつプロジェクト」は離れた場にいる人たちが連携して進めていて、絆を深めている、大人が仲良くやっている姿を子どもたちに伝えたいと思いました。政治の場でけん

かしている姿ばかり見せられると、子どもたちは希望を持ってないですね。大人が仲よく、皆で協力してやっていこうとするのが大事かなと思います。

私は愛伝舎の役割としては人と人を繋ぐことだと考えています。町の中にステーションのように人と人が行きかう場として、存在したいと思います。その場があることで多文化共生になっていく、そんな願いでやっています。



被災地の小学校へ送られる文房具

## 新しい形の多文化共生に

### 将来展望はどのようにお考えですか？

これまでやってきて多文化共生は、問題解決の後追いのような感じがします。多文化共生というのは、海外の人材が日本の社会にとっても活力になるような存在になり、多様性が豊かさになってこそ皆が共感し、支持されるようになるかなと思っています。

そこで私たちは、日本と南米の国の経済発展に繋がるようなことをやりたいです。例えば、日本酒や伊勢茶をブラジルに売り込めないかなどかと思っています。この20年間に日系人が日本から電化製品や食べ物、洋服、今の日本をたくさん母国に伝えました。今の日本の生活を体験している日系人を通じて日本とブラジルの関係がさらに深くなるということをやっていききたいと考えています。

### 【データ】

〒513-0806 三重県鈴鹿市算所 3-9-50  
T E L 050-3532-9911  
F A X 059-379-5610  
E - m a i l aiden10@eco.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://aidensha.jimdo.com/>  
代表者 理事長 坂本 久海子  
団体設立年月日 2005年1月29日  
NPO法人化年月日 2005年8月26日

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

NPOで働くということ・人として成長すること

NPOが継続した活動を続けていくためには、スタッフの雇用の安定と人材育成という点は、軽視できない問題のひとつである。しかし、全国的にみても、その点で頭を悩ませている団体は少なくないのが現状ではないだろうか。

現在、若者の就職活動では、一般企業よりもNPOで働くという選択肢を選ぶ人も増えてきている。高収入を求めてこの世界に入るのではなく、社会や地域の問題を解決するというを通して、自己実現ができるというところに魅力を感じている人が増えてきているのは事実のようだ。

NPOがミッションを達成するために必要なスタッフを雇用し、育成するためには、有給スタッフを雇ったり、十分な教育をするための財源不足の問題も大きいかもしれないが、NPOや市民活動の世界の魅力ややりがいを伝えることも大切にするべき視点のひとつではないだろうか。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～  
中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時 11月17日(木) 13:30～16:00(予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は？職員を雇うときの手続きは？助成金をとりたいけれど…  
先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対象 NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 (1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00  
今後の予定:11月1日(火)、12月6日(火)

場所 みえ県民交流センター  
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 NPO法人 みえNPOセンター  
代表理事、事務局長、事務局スタッフから内容に応じて

問い合わせ みえ市民活動ボランティアセンター  
TEL 059-222-5995



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

- ◆ 災害ボランティア活動支援者のためのハンドブック  
特定非営利活動法人 さくらネット編集  
発行: 社会福祉法人中央共同募金会 (災害ボランティア活動支援プロジェクト会議)  
発行日: 2009年3月
- ◆ コミュニティ起業家の仕事 Address the Smile  
NPO法人 ETIC. 編  
発行: 経済産業省 発行日: 2005年4月
- ◆ 三重のCB (コミュニティビジネス)  
発行: 三重県農水商工部商工振興室  
制作: 特定非営利活動法人 Mブリッジ  
発行日: 2011年2月

認証した特定非営利活動法人 2011年9月10日～2011年10月9日認証分

- | ① 認証団体名  | ② 法人事務所の所在地 | ③ 活動分野   |
|--|-------------|--|
| ④ 認証年月日  | ⑤ 代表者       |  |
| ①みえ社会福祉研究開発機構<br>②四日市市川島町1026番地1<br>③保健、災害、職業能力、その他<br>④2011年9月15日<br>⑤理事長 加藤 芳輝 |             | ③子ども<br>④2011年10月6日<br>⑤理事長 福士 英実  |
| ①山・川・海を守る会<br>②度会郡度会町棚橋608番地1<br>③環境<br>④2011年9月26日<br>⑤理事長 杉本 建夫                |             | ①育み会<br>②度会郡度会町大野木602番地1<br>③保健、社会教育、まちづくり、文化、子ども、経済活動<br>④2011年10月6日<br>⑤理事長 東出 章                         |
| ①すずのね<br>②鈴鹿市河田町1064番地の1<br>③保健、職業能力<br>④2011年9月26日<br>⑤理事長 岸田 建雄                |             | ①さくら三川クラブ<br>②四日市市鷺の森一丁目4番3号<br>メディカルセンタービル内<br>③保健、社会教育、まちづくり、文化、環境、地域安全、子ども<br>④2011年10月6日<br>⑤理事長 尾崎 英世 |
| ①日の本子供会<br>②四日市市桜台一丁目34番地1   |             |  |

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細5ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

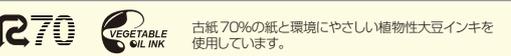
【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会  
【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。